

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名 佐藤商事株式会社
 コード番号 8065 URL <http://www.satoshoji.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田和夫
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 木村久雄
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東

TEL 03-3553-7005

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	47,197	—	1,418	—	1,579	—	982	—
20年3月期第1四半期	40,078	11.8	858	△5.6	1,043	3.5	567	△2.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	45.24	—
20年3月期第1四半期	26.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	94,242	27,927	29.6	1,284.22
20年3月期	88,707	26,720	30.1	1,230.35

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 27,890百万円 20年3月期 26,682百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	96,000	—	2,500	—	2,700	—	1,600	—	73.67
通期	195,000	15.4	4,900	44.1	5,200	46.1	3,000	51.6	138.14

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページの【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページの【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 21,790,350株 20年3月期 21,790,350株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 72,683株 20年3月期 72,378株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 21,717,787株 20年3月期第1四半期 21,465,861株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月15日発表の連結業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも本資料にて修正しております。

2. 本資料に記載している予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。前記の連結業績予想の修正については、3ページの【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表等規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における我が国経済は、原油価格の高騰をはじめとした原材料価格の上昇によるコスト高が企業収益や個人消費を圧迫し、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な経済及び金融環境の不透明感も加わり、景気の減速感が強まってきました。

このような状況下におきまして、当社グループの連結業績は、主要取引業界である商用車を中心とした自動車業界や建設機械業界が比較的堅調に推移したこと及び鋼材価格の上昇により、売上高は471億9千7百万円（前年同期比17.8%増）、収益面におきましては、鋼材価格の上昇に対する売上総利益の増加が予想以上になったこと等により、営業利益は14億1千8百万円（前年同期比65.3%増）、経常利益は15億7千9百万円（前年同期比51.4%増）、四半期純利益は9億8千2百万円（前年同期比73.2%増）となりました。

鉄鋼事業では、主力の商用車業界及び建設機械業界向けの販売については、引き続き新興国向けの輸出に支えられ堅調に推移したこと及び鋼材価格の上昇により、同事業の売上高は328億7千7百万円（前年同期比28.8%増）となりました。

非鉄金属事業では、亜鉛地金価格の下落の影響が大きく、同事業の売上高は63億7千7百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

電子材料事業では、プリント配線基板用積層板等の販売が、デジタル家電業界向けは低調でしたが、車載関連業界向けの駆け込み需要があったことにより、同事業の売上高は44億6千5百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

金属雑貨事業では、北米販売向け金属洋食器が低迷したこと等により、同事業の売上高は20億3千9百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

機械・工具事業では、商用車業界及び産業機械業界の設備投資が堅調に推移したことにより、同事業の売上高は、14億3千6百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて55億3千4百万円増加し、942億4千2百万円となりました。その要因の主なものは、流動資産において、受取手形及び売掛金やたな卸資産が37億9千万円増加したことに加え、固定資産において投資有価証券や土地が13億6百万円増加したことであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて43億2千7百万円増加し663億1千4百万円となりました。その要因の主なものは、流動負債において、支払手形及び買掛金や短期借入金が35億6百万円増加したことであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて12億6百万円増加し279億2千7百万円となりました。その要因の主なものは、その他有価証券評価差額金が5億3千2百万円増加したこと及び利益剰余金が6億5千6百万円増加したことであります。

（キャッシュフローの状況）

当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は25億6千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億4千7百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは2億2千7百万円の支出となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益が16億9千8百万円であったのに対し、たな卸資産の増加による支出21億2千9百万円等があったためであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは10億8百万円の支出となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出10億9千9百万円等であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは9億6千8百万円の収入となりました。主な要因は、短期借入金の純増額14億2千8百万円、配当金の支払額3億2千6百万円等であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の我が国経済は、原材料価格の高騰により企業の設備投資や個人消費への影響等、景気減速感が感じられ、また、米国を始めとした経済情勢等不透明な状況が続くと予想されます。

そのような環境の中、当社グループを取り巻く環境は、主要取引業界である商用車を中心とした自動車業界や建設機械業界が比較的堅調であること及び鋼材価格の上昇による売上総利益の予想以上の増加の影響もあり、この第1四半期の成績及び今後の見通しを検証した結果、今期の連結業績予想を修正いたします。

なお、平成20年5月15日に公表いたしました連結業績予想数値との差異は以下のとおりです。

平成21年3月期第2四半期連結累計期間 連結業績予想数値の修正

(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 95,000	百万円 2,150	百万円 2,200	百万円 1,300	円 銭 59.86
今回発表予想(B)	96,000	2,500	2,700	1,600	73.67
増減額(B-A)	1,000	350	500	300	—
増減率(%)	1.1	16.3	22.7	23.1	—
前期中間実績	81,010	1,868	2,074	1,101	51.23

平成21年3月期通期 連結業績予想数値の修正

(自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 194,000	百万円 4,550	百万円 4,700	百万円 2,700	円 銭 124.32
今回発表予想(B)	195,000	4,900	5,200	3,000	138.14
増減額(B-A)	1,000	350	500	300	—
増減率(%)	0.5	7.7	10.6	11.1	—
前期実績	168,923	3,400	3,558	1,978	91.71

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②当社及び国内連結子会社は、減価償却資産の耐用年数等に関する平成20年度法人税法の改正を契機として、資産の利用状況を見直した結果、当連結会計年度より、機械装置の耐用年数を7～15年から8～10年に変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第1四半期連結会計期間の減価償却費は2千1百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ同額減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,021	4,256
受取手形及び売掛金	49,074	47,433
商品	16,691	14,541
繰延税金資産	608	493
その他	580	296
貸倒引当金	△170	△170
流動資産合計	70,805	66,851
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,464	3,326
土地	5,227	4,589
その他	2,084	1,976
有形固定資産合計	10,776	9,893
無形固定資産	366	376
投資その他の資産		
投資有価証券	11,580	10,911
前払年金費用	339	335
その他	518	482
貸倒引当金	△144	△142
投資その他の資産合計	12,293	11,586
固定資産合計	23,436	21,856
資産合計	94,242	88,707

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,876	42,840
短期借入金	12,607	11,137
未払法人税等	756	1,016
賞与引当金	377	728
役員賞与引当金	32	128
その他	2,151	878
流動負債合計	60,801	56,729
固定負債		
長期借入金	2,569	2,702
繰延税金負債	2,620	2,231
役員退職慰労引当金	180	171
退職給付引当金	56	63
その他	87	87
固定負債合計	5,512	5,256
負債合計	66,314	61,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,319	1,319
資本剰余金	881	881
利益剰余金	21,912	21,255
自己株式	△38	△38
株主資本合計	24,074	23,417
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,837	3,305
繰延ヘッジ損益	△12	△12
為替換算調整勘定	△9	△28
評価・換算差額等合計	3,815	3,264
少数株主持分	37	38
純資産合計	27,927	26,720
負債純資産合計	94,242	88,707

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	47,197
売上原価	43,456
売上総利益	3,740
販売費及び一般管理費	2,321
営業利益	1,418
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	116
持分法による投資利益	12
その他	151
営業外収益合計	281
営業外費用	
支払利息	64
手形売却損	30
売上債権売却損	24
その他	0
営業外費用合計	120
経常利益	1,579
特別利益	
投資有価証券売却益	130
特別利益合計	130
特別損失	
固定資産除売却損	11
特別損失合計	11
税金等調整前四半期純利益	1,698
法人税、住民税及び事業税	814
法人税等調整額	△96
少数株主損失(△)	△1
四半期純利益	982

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,698
減価償却費	219
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△96
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△7
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△3
受取利息及び受取配当金	△117
支払利息	64
持分法による投資損益 (△は益)	△12
投資有価証券売却損益 (△は益)	△130
固定資産除売却損益 (△は益)	8
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,570
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,129
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,008
その他	622
小計	564
利息及び配当金の受取額	336
利息の支払額	△63
法人税等の支払額	△1,066
営業活動によるキャッシュ・フロー	△227
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,099
有形固定資産の売却による収入	0
無形固定資産の取得による支出	△33
投資有価証券の取得による支出	△5
投資有価証券の売却による収入	155
その他	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,008
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,428
長期借入金の返済による支出	△133
配当金の支払額	△326
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	968
現金及び現金同等物に係る換算差額	21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△247
現金及び現金同等物の期首残高	2,809
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,562

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）

	鉄鋼 (百万円)	非鉄金属 (百万円)	電子材料 (百万円)	金属雑貨 (百万円)	機械・工具 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	32,877	6,377	4,465	2,039	1,436	47,197	—	47,197
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	32,877	6,377	4,465	2,039	1,436	47,197	—	47,197
営業利益	1,160	90	123	23	20	1,418	—	1,418

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しています。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	40,078
II 売上原価	37,084
売上総利益	2,994
III 販売費及び一般管理費	2,136
営業利益	858
IV 営業外収益	285
V 営業外費用	100
経常利益	1,043
VI 特別利益	11
VII 特別損失	0
税金等調整前四半期純利益	1,053
法人税、住民税及び事業税	494
法人税等調整額	△26
少数株主利益	18
四半期純利益	567

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,053
減価償却費	186
貸倒引当金の増減額	18
役員賞与引当金の増減額	31
役員退職慰労引当金の増減額	11
退職給付引当金の増減額	1
受取利息及び受取配当金	△94
支払利息	55
固定資産除売却損益	0
前払年金費用の増減額	△3
売上債権の増減額	△892
たな卸資産の増減額	△462
仕入債務の増減額	257
その他	120
小計	283
利息及び配当金の受取額	106
利息支払金	△45
法人税等の支払額	△1,020
営業活動によるキャッシュ・フロー	△675
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産取得による支出	△199
有形固定資産売却による収入	0
無形固定資産取得による支出	△41
投資有価証券の取得による支出	△589
その他	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△838
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	408
長期借入金の返済による支出	△131
配当金の支払額	△328
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	18
V 現金及び現金同等物の増減額	△1,546
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,142
VII 現金及び現金同等物の期末残高	2,595